

CNSニュースレター

～千葉の地から、千葉のチカラ～

2017 新春
vol. 14



澄み渡る空の下で、両手で葉っぱを挟んで鳴らす草笛。うまく鳴っても鳴らなくても、みんなで歩けば楽しい里の道。(平群下)

も く じ

□一灯照隅	…2	□ろくすけ日和	…10
□指定管理の現場から	…3	「平群のみかん」	
□9～11月の現場レポート	…4	□千葉シニア自然大学	
・主催事業		「収穫祭」	
・ネットワーク・受託事業		□みんなのおおきな食卓	…11
・指定管理施設の主催事業		□会員校・指定管理施設紹介	…12
□こんなことにチャレンジしています！	…7	□スタッフのつぶやき	
□1月～3月 CNS ネットワークイベント情報	…8		

一灯照隅

理事長 飯田 洋

皆さま明けましておめでとうございます。昨年中は、千葉自然学校に多大なご指導、ご支援をいただき有難うございました。お陰様で、事業や運営について大きなトラブルもなく年越しができました。

年間たくさんのお子さまをお預かりし、野外でのキャンプをはじめ自然に触れ合い逞しく生きる力を醸成するなどを目的に活動していますが、安全・安心を最優先とし、リスク管理の質を高める努力を日々しているところです。新しい年を迎えるにあたり、改めて組織全体を見直したいと考えています。

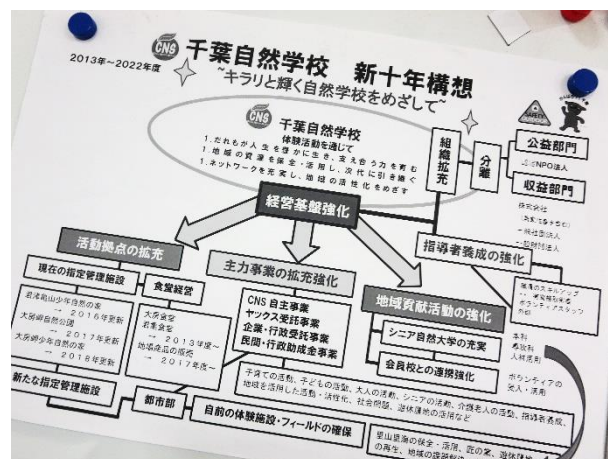
今年の干支は、丁酉（ひのと・とり）の年ですが、酉がつく年は「商売繁盛に繋がる」、「物事が頂点まで極まった状態」の年と言われています。

本校も設立14年目を迎え、事業規模も年々広がり、職員数もパートを含めると40数名になってきています。

昨年来、今後の千葉自然学校の進む方向性について、職員を交えて真剣な議論を重ねてきましたが、「千葉自然学校新十年構想～キラリと輝く自然学校をめざして～」を指針に、設立の原点に立ち返り、会員校との連携や地域との連携などについて、これまで以上に進めることとしました。

NPO 法人としての形も、新年度には仮認定 NPO 法人から認定 NPO 法人へ転換するよう事務手続きをすることになりますが、自然学校の活動が少しでも明るく、住みやすい社会に寄与できるよう、なお一層の努力をしてまいりたいと考えています。

今年も昨年同様、皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



「一灯照隅」この後に「万灯照国」と続きます。これは、1つの灯りは隅しか照らせないが、万の灯りは国全体を照らすことができる。転じて、一人一人が自分の役割を懸命に果たすことが、組織全体にとって最も貴重であるという意味の最澄の言葉です。

指定管理の現場から

千葉自然学校は、現在県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として千葉県、南房総市からそれぞれ委託を受け、管理・運営を行っています。
このコーナーでは、それぞれの施設での取り組みや想いを皆様にお届けしていきます。

南房総市大房岬自然の家 所長 神保清司

朝一番の冷え込みが冬の到来を感じさせます。それでも5度くらいです。寒い地域の方たちに笑われそうです。先日、全国青少年教育施設所長会議に出席してきました。日本全国の国公立のいわゆる少年自然の家や青少年の家のような施設の長の集まりです。このような会議を主催するのは代々木にある国立青少年教育振興機構という組織です。全国に27か所ある国立の青少年教育施設を統括する組織であり、青少年の体験活動に関する先進的な調査研究を専門とする機関です。

かなり長い時間と労力を惜しまずに膨大なデータを解析し、青少年の体験活動と健全な成長の因果関係について調査しています。データがすべてというわけではありませんが、よく言われるところの「なぜ自然と触れ合わなきゃいけないの？」だとか「どんな良い効果があるの？」という問いに直面した時の返答材料として素晴らしい調査結果だと思います。ただし、この調査結果についてあまりに知られていないのが実情です。ご興味ある方は、是非、機構のホームページから「調査研究報告書検索」のページを参考にしてください。



千葉県立君津亀山少年自然の家 所長 庄司達哉

「子どもは誰が守る？」

とあるマンションの話です。マンション内の決め事として「住民同士お互いにあいさつをしない」と決まったそうです。子どもをもつ保護者から「知らない人にあいさつをされたら、逃げるよう教育をしているので、あいさつをしないよう決めてほしい」と提案があり、年配の方からも「あいさつをしてもあいさつが返ってこないのが気分が悪かった。お互いにやめましょう」と意見が一致したそうです。このマンションの管理組合理事の方が「理解に苦しむ」という内容で新聞に投稿したものが掲載されていました。保護者からすれば大事な我が子を守るための提案だったのでしょうが…。



私は、子どもは地域で育てるものだと思います。子どもを守るのは親の務めですが、核家族が多い中、親だけではカバーできない部分を隣近所の顔馴染みが助けてくれる。そんな場面を増やしたいと思っています。

ただ、人口密度が高くなるほど、人間関係も希薄になりがちになるのも現実です。

これからの日本の社会はどうなっていくのか、どうしていくのがいいのか、悶々としています。

千葉県立大房岬自然公園 公園長 山口亮介

木々も葉を落とし、あれだけたくさんいた虫たちも姿を消し、公園内はすっかり冬の装いになってきました。キャンプ場も夏のにぎわいはどこへやら。訪れる人も減ってすっかり静かでちょっと寂しい雰囲気になっています。

しかしながら、公園には冬ならではの魅力もたくさんあるのです。夏にはいない冬の鳥たちがいたり、空気が澄んでいるので、景色や星空が抜群にきれいだったり、夏の間あれだけいた虫たちがいなかったり、夜の焚火があつたかかったり…。寒さ対策をしっかりとしてくれば、夏にはない魅力を感じることができます。現在公園では「冬キャンプのススメ」と銘打って、こんな魅力を感じてもらえるように冬のキャンプ利用がもっと盛り上がるように取り組んでいます。

春夏秋冬、それぞれの魅力をたくさんの人に感じてもらうように取り組んでいきたいと思っています。



9 10 11 月の現場レポート《主催事業》



週末・子ども

カヌー&フィッシングキャンプ

～カヌー初挑戦でも大丈夫！湖の奥まで大冒険に出発だ！～

① 9 / 17 (土) ～ 19 (月祝) 2泊3日 施設泊 千葉県立君津亀山少年自然の家 小学生

◆カヌー／焚き火／ワイルドフィッシング



はじめは台風の影響も心配されましたが、カヌーと釣りを実施できました。

君津市にある自然豊かな亀山湖をフィールドに、慣れないパドルを手で一生涯懸命に前に前に漕ぎ進めていました。

次第にまっすぐスイスイと漕げるようになって、自分の力で水面、風をきって進む楽しさを感じることができました。

釣りでは、はじめはなかなか釣れなかった子も諦めずに挑戦することで、コツを掴み、魚を釣ることができました。

週末・子ども

秋の里山・里海キャンプ

～地域のお祭りに参加しよう！～

10 / 22 (土) ～ 23 (日) 1泊2日 古民家泊 ろくすけ 小学生

◆古民家／お祭り参加／餅投げ／焚き火



参加者14名、スタッフ6名、総勢20名のキャンプとなりました。大きな怪我、事故なくキャンプを終えることができました。

古民家「ろくすけ」での生活は、役割分担をしながら進んでいきます。ご飯の準備、片づけ、お部屋、玄関掃除に始まり、洗濯干しなどの家事仕事を子どもが率先して綺麗にしてくれました。

平群（へぐり）地区のお祭りにも参加させていただきました。餅まき、お菓子まきが初めての子もいました。

ろくすけの生活はみんなで協力して成り立つ場、里山生活を体験できる場です。

週末・子ども

森のハロウィンキャンプ

～仮装とカボチャランタンを作ってパーティーを楽しもう！～

10 / 29 (土) ～ 30 (日) 1泊2日 施設泊 千葉県立君津亀山少年自然の家 年中～小学生

◆森で素材探し／ランタンづくり／ハロウィンパーティー／フォトフレームづくり



毎年恒例となったこのキャンプも今年で8日目。今回はスタッフをあわせると50名超えのにぎやかなキャンプになりました。

人数が増えればそれだけ楽しさも倍増。今年は特にハロウィン好きのスタッフが関わり、館内ポイントラリーを中心に、“体感できるハロウィン”をテーマにプロデュースしてみました。今年のハロウィンキャンプは、参加されたお子様にとってどのように心に残っているでしょうか。

これでハロウィンをますます好きになってもらえれば嬉しいです。

週末・子ども

ワカサギ釣りキャンプ

～冬の釣りといえばやっぱりワカサギ釣り！～

11/26(土)～27日(日) 泊2日 施設泊 千葉県立君津亀山少年自然の家 小学生

◆ワカサギ釣り&クッキング/焚き火



初めてのワカサギ釣りキャンプに、27名の子どもが市原市の高滝湖に集まりました。

天候にも恵まれ二日間とも釣りを楽しめました。

初めて釣りをする子もいて餌の付け方や、仕掛けづくりなど大変なことが山ほどありますが、隣のおじさんに釣り方を教わったりしながらワカサギを釣り上げていました。

さくさくに揚がったワカサギに「おいしい！もう無いの」の声。ありがたいことにおじさんからのワカサギのプレゼントもありました。

自分で釣り上げた魚を食べることができる釣りキャンプ。これからも続けていきます。

日帰り・子ども

「防波堤から五目釣り」

～房総日帰り探検隊2回目のプログラム 釣って・食べる～

10/1(土) 日帰り 富津市・大貫漁港 小学生

◆五目釣り



天候は、雨から曇の寒風吹きぬける防波堤。元気な子ども10名で、秋の五目釣りに出かけました。

リピーターが多いこの企画！投げ釣りもお手の物といいたところですが、まだまだ修行が必要です。

ハゼにメゴチ、キスと釣り上げた魚はその場で揚げたてをいただきました。

大人気釣りシリーズ。いつかは大物めざして、子どもとロングキャンプへ…。

大人(シニア)

「房総の古道を歩く③」

11/12(土) 日帰り 千葉県君津市、鴨川市周辺 大人

◆上総と安房を分ける群界尾根の古道ハイキング



晴天の中、参加者24名のみなさんと群界尾根を香木原から清和まで古道を巡って来ました。小町峰峠、長野田番所、安房高山など見どころも多く楽しい1日となりました。

全7回の内3回目のコースが終了し、残り4回のコースも準備中です。

案内人の川崎勝丸さんにはいつもお世話になっております。房総の山はこの人、と言える素晴らしいお方です。

北総事業部会

「森のひみつきち～アウトドア型ワークショップイベント～出店」

9月18日に昭和の森フォレストビレッジにて開催された「森のひみつきち」に北総事業部会のメンバーで出店しました。

これは「遊ぶ！学ぶ！体験する！」をテーマにした子どもが主役のアウトドア型ワークショップイベントで、北総事業部会ではおおまさりやジャムなどの地元産の食品の販売や、どんぐりクラフトや貝デコ体験などの、小さなお子様でも簡単に楽しめるクラフト体験を提供しました。

当日の天候は雨の心配もされつつの曇り空でしたが、親子連れの方々に多くお出かけいただき、どのブースも大盛況。



試食用にと差し出したゆでらっかせいの美味しさに驚いたお客様には、「昨日畑で掘ってきた、掘たてですよ」と、お話しを交えて活動のPRができるのもブース出展の醍醐味。これからも各団体の得意分野を活かした“つながりの場”を作っていきたいと思います。（文：上地智子／かみい）

コーディネート事業

「～千葉の郷土料理を学ぶ～南房総へ 学校給食を食べに行こう」

地域の農漁業者等の支援を受け、地域で昔から食べられている「食」を“学校給食”で実現している南房総市。今回「給食の日」に合わせた一般公開に、千葉からツアーを組んで訪ねました。

“南房総市が目指す「おいしいご飯給食」”とは？この日のメニューは、ひらたけの炊き込みごはん／鯖の柚庵焼き／地元野菜とイカのゴマ酢和え／さつま汁／拓心ヨーグルト（安房拓心高校製造）／牛乳。



南房総市で育てられたお米を使い、毎日ご飯を提供し、「地産地消」「和食中心の献立」「子どもに食べさせたい食」の3つの視点で実施されていました。南房総市だからこそできる「里・海・山」の豊かな食材を生かした給食でした。栄養士の方に100%米食の話を伺うと、米食はパン食よりもおかずの選択に縛られない利点があるそうです。また、学校内には多くの掲示物（生産者写真や栄養バランスなど）があり、食への興味関心、生産者への感謝を育む取り組みが良くわかりました。

この日の午後は、雨も少し弱まり、地域のみかん農園に行き、みかん狩りもしました。そして移動中のバス内では、参加者みなさんから給食の感想やご自身の給食の思い出を語ってもらい、食について振り返る良い機会となりました。

（文：橋口和美／たこはち）

事例紹介事業

「総合観光学会で事例紹介」

先日、千葉大学松戸キャンパスで開催された総合観光学会の全国学術研究大会ミニシンポジウムにお招きいただき、「農村ツーリズムの進行におけるNPOの役割と課題をさぐる」というテーマの中で、千葉自然学校が立ち上げから今まで取り組んできた活動について紹介をさせていただきました。

観光を専門とする方々にこういった形でお話ができる機会は少なく、参加された皆様からの感想やいただいた質問の中に、これからの活動に向けた多くのヒントがあり、とても刺激的で実り多き時間、経験をさせていただくことができました。

今年も千葉県が推進するグリーン・ブルー・ツーリズムの振興に広域連携型のNPOとして携わらせていただくことになり、2月に千葉市で民泊と農村ツーリズムをテーマにしたセミナー、また、夷隅方面で実践的な研修会の開催を予定しています。千葉自然学校ならではのスタイルで、地域を、千葉県を元気にしていきたいと思っています。セミナーと研修会は、詳細が決まり次第ホームページ等でご案内しますので、テーマに興味のある方、地域や千葉県の未来に興味のある方のご参加をお待ちしています！

（文：佐藤玲子／かつを）



■こんな取り組みもしています■

ろくすけ×フィルムコミッション

築180年のかやぶき屋根の古民家ろくすけ。この佇まいは貴重で珍しいとのことで、テレビや映画のロケなどのお問い合わせも増えてきています。先日人気漫画を実写映画化する作品の撮影が無事終了。劇場のスクリーンに見覚えのある古民家とその周辺が映ったら、もしかしたらそれは“ろくすけ”かもしれません。ぜひチェックしてみてください！

《指定管理施設の主催事業》

千葉県立大房岬自然の家

「ツリーイングとターザン遊び」

ツリーイングという遊びを知っていますか？木にロープをかけて、ハーネスという安全器具を着用し、自分の力で登っていく遊びです。今回は TMCA（ツリー・マスター・クライミング・アカデミー）の方を講師に招き、ツリーイングと森の中でターザン遊びを行いました。ツリーイングはちょっとしたコツがあり、慣れればスイスイと登れます。ロープを木の枝に通して輪っかにして、足を伸ばして蹴り込むと自分の体を上昇させることができます。大人より子どもの方が身軽でコツをつかむのが早いようです。木の上から見下ろす景色は格別で、今回は特別に樹上ハンモックを設置しました。



子どもはハンモックから降りるときに高度感があり、一番楽しかったとのこと。TMCA では毎月第一土曜日に東京ドイツ村でツリーイング体験を行っているとのことですので、是非そちらも参加してみてください。（文：白井健／ネギ）

千葉県立大房岬自然公園

「ファミリーキャンプ教室」

キャンプデビューしたいけど、やり方がわからない…、というご家族を対象とした、キャンプの基本を教えるキャンプ教室。大房岬自然公園恒例の人気イベントです。1泊2日のプログラムでテントの設営方法、野外調理の仕方、森での活動をお伝えする充実した内容で、今年は9月と10月2回開催し、19家族68名のご家族にご参加いただきました。

キャンプ自体初めて、という方がほとんどだったので参加者の質問を受けつつのテント設営。要点を押さえてしっかりとテントを張ることができました。拠点を作った後は、全員で魔法の鍋ダッチオーブンをつかった無水カレー作り。

夜にはゆったりとたき火タイム。初めてのキャンプで興奮決めやらぬ子ども達が火おこしている姿がとても印象的でした。

翌日は、テントのしまい方と手入れの方法を学び、今回のおみやげ焼き板作成。終始、笑顔と子どもの元気な声が絶えないキャンプ教室でした。ファミリーキャンプ教室は来年度も開催予定です。



（文：飯塚伊代／まりも）

千葉県立君津亀山少年自然の家

「石窯をつくろう③～石窯火入れ式～」

11月13日（日）、お父さんのための DIY シリーズ『石窯をつくろう③～石窯火入れ式～』が行われました。この事業はきみかめ30周年を記念してなにかできないかというところから始まった事業です。

今回はできあがった石窯を使って実際に料理をしてみようという、いわばお披露目の会になりました。①～②で石窯をゼロから作り上げたお父さんたちは気合も十分！午前中は手作りピザで舌鼓。生地からこねて作るのは初めてという方もいて四苦八苦されていましたが、皆さん協力してなんとか無事にこねあがりました。ピザは3～5分で焼きあがります。これには一緒に参加してくれたお母さん達もびっくりです。



更に午後からはおやつにチョコバナナパイを焼きました。子どもも大満足の様子でした。

できあがった石窯が今後どのように活躍してくれるか楽しみです。皆さんもきみかめに石窯を見にいらっしやいませんか？

（文：村岡宏樹／村さん）

こんなことにチャレンジしています！

「あおぞら☆パークキッズ」

都市部に住む乳幼児の子どもが、あおぞらの下、身近な都市公園で自然に触れ心身ともに親子でのびのびと活動できたら…。そんな想いを込めて活動している「あおぞら☆パークキッズ」。本事業は、子どもゆめ基金の助成を受けて未就園児（0歳～3歳）の親子12組を対象に、今年は秋・冬の時期に都市公園で3回実施しています。都市部に住む乳幼児の親子は、とかく室内で過ごしがち。外遊びといったら、近隣公園での遊具遊び中心になってしまうのが現状のように思います。確かに都市部は、自然豊かな環境とはいえないかもしれませんが、子どものそばにいる親が、身近な自然でのちょっとした遊び方を知っていればどうでしょうか。お散歩中に会える道端の草花や公園にある木々などのちょっとした身近な自然でも楽しむことができるのです。

『三つ子の魂百まで』『3歳までに土台が出来上がる』という言葉も聞かれるように、この時期の子どもの心身の発育はとても大切だと感じます。自然は五感を刺激する不思議の宝庫。様々な色や形の草花や、季節によって変化する木々や虫たちの暮らし。土の分解者たちによってフカフカになった場所を歩く足裏の感触や、独特な匂い。つるつるした木の実や、ゴツゴツした木の枝や幹。鳥たちのさえずりや、パチパチと燃える火の温もり…。室内では感じる事ができない気づきが溢れています。その驚きや発見を大好きなお母さんやお父さんに共感してもらえることは、土台をつくる乳幼時期の子どもにとって、自己肯定感に繋がるかけがいのない体験なのです。

活動を提供するスタッフは、幕張で乳幼児の遊びを専門とする「NPO法人子どもを育む会 はらっぱ」や、週末に乳幼児の親子を対象に佐倉で活動している「ちびさんぽ」を実践しているスタッフの方にも協力を頂き、実施しています。

活動中、育児のちょっとした悩みやアドバイスを専門スタッフからもらえることもこの活動の魅力の1つです。「枝が好きで見つけると振り回して危なくて…」という悩みに、スタッフは「枝をポキポキ折るのも楽しいよ」と安全面に配慮しながら違う遊びに転換させたり、「乳幼児の子どもの歩ける目安は年齢+1.2km なんですよ」というアドバイスに、「そんな歩けるんだ～」と驚いたり。参加者同士の気づきや刺激もたくさんあります。前回の活動で、10cmはあるミミズに出逢いました。ほとんどの子は、普段見ることがない太くて長いミミズに驚き近づこうとはしません。

しかし、もうすぐ3歳になる女の子がムンズとミミズをつかみにかかり満面の笑み。それを見ていた同学年の男の子は、密かに刺激を受けていたようで、「僕も次こそは！」と意気込んでいたと後日参加したお母さんから教えてもらいました。

初めての子育ては、試行錯誤、無我夢中です。現代社会において、都市部の乳幼児期の子育ては、とかく孤立しがち。だからこそ、一歩外へ出てみましょう。自分の指標しかない子育てに新たな気づきや発見が生まれます。外と繋がることで、豊かになるヒントがたくさんあります。活動を通して、そんなちょっとしたヒントや視点づくりを伝え、お土産として、日々の生活に戻ったとき、親子でのより豊かなコミュニケーションづくりに繋がればと願っています。あおぞらの下、子どもも親も心身ともにリフレッシュ！都市部だからと嘆かず、あきらめず、気づいてほしい。小さな子ども達の遊びは、無限に広がっていきます。土台ができる大事な時期だからこそ、外に出て自然遊びを。そして豊かな感性を育ててほしい。そんな想いで取り組んでいる千葉自然学校の自然体験活動初めの一歩を担う活動です。

（文：谷慶子／けろっぴ）



おとなのえんそく：水仙と天狗のお山

牧歌的な風景を楽しみながら天狗を祀る高鶴山へ登ろう！

【開催日】1月15日（日）

【対象】20歳～

【参加費】一般 5,000 円、会員 4,500 円

【会場】千葉県鴨川市・高鶴山・星ヶ畑周辺

【連絡先】ELFIN 体験共育くらぶ

TEL：0470-55-8322 E-mail：toi-awase@elfin-ee.com

房総の古道を歩く

山の神を祀る宇藤木大山・頼朝ゆかりの大街堂を巡ります。

【開催日】1月21日（土）

【対象】山道を 4～5 時間程度歩ける方

【参加費】5,900 円

【会場】集合・解散 JR 岩井駅

【連絡先】NPO 法人千葉自然学校

TEL：043-202-7173 E-mail：camp@chiba-ns.net

狩猟・シビエ解体体験

野生鹿、猪の捕獲体験と解体シビエ食。お肉のお土産あり。

【開催日】1月21日（土）～22日（日）

【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】大人 12,000 円 子ども 10,000 円

【会場】森林塾かすさの森（君津市）

【連絡先】森林塾かすさの森

TEL：0439-39-3556（夜間 35-2114）

夜の鴨川シーワールド探検

水族館を貸し切り！めったにできないわくわくドキドキ体験♪

【開催日】1月21日（土）～22日（日）

【対象】小学生

【参加費】一般 25,800 円 会員 22,800 円

【会場】鴨川シーワールド（鴨川市）

【連絡先】ハロートラベルヤックス自然学校予約センター

TEL：043-307-1211

E-mail：yacs-camp@aroma.ocn.ne.jp

新春・清澄山ハイキング

坂本地区～千葉演習林本沢林道～七曲歩道～清澄寺（昼食）～郷台林道～小屋ノ沢歩道～今澄番所跡～清澄寺までの約 12km。

【開催日】1月24日（火）

【対象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】1,400 円（森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額）

【会場】内浦山県民の森（鴨川市）

【連絡先】内浦山県民の森

TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

石窯パン作りに挑戦

レンガの石窯でパン作りに挑戦！

【開催日】1月28日（土）

【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】1,100 円

【会場】館山野鳥の森（館山市）

【連絡先】館山野鳥の森

TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187



ピッツァを焼こう！食べよう！

レンガ窯で焼くピッツァ。生地作りから焼きまでを体験♪

【開催日】2月4日（土）

【対象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】1,700 円（森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額）

【会場】内浦山県民の森（鴨川市）

【連絡先】内浦山県民の森

TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

親子スキーツアー&ひとりでスキー

白銀の世界ヘレツスキー！嬉しい無料レッスン付き♪

【開催日】①2月10日（金）～12日（日）

②2月24日（金）～26日（日）

【対象】親子・小学生・中学生

【参加費】親子スキーツアー

会員：大人 31,800 円、子ども 29,800 円

一般：大人 34,800 円、子ども 32,800 円

ひとりでスキー

会員：中学生 34,800 円、小学生 32,800 円

一般：中学生 37,800 円、小学生 35,800 円

【会場】たかつえスキー場（福島県南会津郡）

【連絡先】ハロートラベル ヤックス自然学校 予約センター

TEL：043-307-1211 E-mail：yacs-camp@chiba-ns.net

クラフトテープを使った小物作り（中級編）

クラフトテープを使って小物作り★

【開催日】2月18日（土）

【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】900 円

【会場】館山野鳥の森（館山市）

【連絡先】館山野鳥の森

TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

メープルシロップ作り体験

カエデの樹液で天然甘味料、ケーキ作り♪

【開催日】2月25日（土）～26日（日）

【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】大人 11,000 円 子ども 9,000 円

【会場】森林塾かすさの森（君津市）

【連絡先】森林塾かすさの森

TEL：0439-39-3556（夜間 35-2114）

カステラとお菓子の家づくり

絵本に登場するごちそうをつくってみよう！

【開催日】2月25日（土）～26日（日）

【対象】幼児（年中～年長）、小学生

【参加費】一般 13,000 円 会員 10,000 円

【会場】君津亀山少年自然の家（君津市）

【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター

TEL：043-224-1400 E-mail：cns-camp@aroma.ocn.ne.jp

里の味噌づくりとたき火で鍋料理

暮らしの中の手作り体験。寒仕込みで味噌作りなど♪

【開催日】2月26日（日）

【対象】どなたでも（中学生以下は保護者同伴）

【参加費】3,500 円 未就学児 2,000 円

【会場】千葉県鋸南町

【連絡先】ELFIN 体験共育くらぶ

TEL：0470-55-8322 E-mail：toi-awase@elfin-ee.com



3月

巣箱と餌台作り

かわいい野鳥にお家と餌台をプレゼントしよう！

- 【開催日】3月4日（土）
- 【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）
- 【参加費】1,100円
- 【会場】館山野鳥の森（館山市）
- 【連絡先】館山野鳥の森
- TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

手打ちうどんでカレーうどん

粉からこねて踏んで伸ばして麺切りまで自分で作ろう！

- 【開催日】3月5日（日）
- 【対象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）
- 【参加費】1,000円（森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額）
- 【会場】内浦山県民の森（鴨川市）
- 【連絡先】内浦山県民の森
- TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

きのこ打ち、チャボ飼育体験

ホダ木にきのこ菌をうえてお土産に♪チャボの飼育体験も！

- 【開催日】3月11日（土）～12日（日）
- 【参加費】大人 9,000円 子ども 7,000円
- 【会場】森林塾かすさの森（君津市）
- 【連絡先】森林塾かすさの森
- TEL：0439-39-3556（夜間 35-2114）

流木アート

流木や貝を使ってウエルカムボードを作ります★

- 【開催日】3月18日（土）
- 【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）
- 【参加費】1,600円
- 【会場】館山野鳥の森（館山市）
- 【連絡先】館山野鳥の森
- TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

焚き火とお花炭作り

焚き火で暖をとりながら木の実や枝葉のお花炭作り♪

- 【開催日】3月26日（日）
- 【対象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）
- 【参加費】1,000円（森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額）
- 【会場】内浦山県民の森（鴨川市）
- 【連絡先】内浦山県民の森
- TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

春の岬でキャンプ・キャンプ！

テント生活、たき火で野外料理などしながら岬で遊ぼう！

- 【開催日】3月28日（火）～30日（木）
- 【対象】小学生
- 【参加費】一般 20,000円 会員 18,000円
- 【会場】大房岬公園（南房総市）
- 【連絡先】ELFIN 体験共育くらぶ
- TEL：0470-55-8322 E-mail：toi-awase@elfin-ee.com

秘密基地キャンプ

大工道具を使って、みんなで建てるぞ！

- 【開催日】3月25日（土）～27日（月）
- 【対象】小学生
- 【参加費】一般 26,000円 会員 23,000円
- 【会場】君津亀山少年自然の家（君津市）
- 【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター
- TEL：043-224-1400 E-mail：cns-camp@aroma.ocn.ne.jp



1月～3月

手作り味噌教室

地元大豆とコシヒカリの麴を原料にして、本物を作る寒仕込み教室。無添加の生きた麴が、1年かけて熟成されます。1日で我が家の1年分のお味噌が作れます。

- 【開催日】1月～3月（繰り返し開催。日程別途設定）
- 【参加費】1回 2,100円（味噌3kg、追加1kg 800円）
- 【申込締切】7日前（要予約）
- 【定員】20名程度
- 【持ち物】作業着、ゴム手袋、タオル、持ち帰り用容器
- 【会場】「わたしの田舎」谷当工房（千葉市）
- 【連絡先】「わたしの田舎」谷当工房
- TEL & FAX：043-239-0645
- E-mail：yatoukoubou@gmail.com



そば打ち体験教室

長野産ひきたて最高級の新そば粉を使って、水加減、練り、延し、茹で方までをマスターできます。昼食は美味しい打ち立てそばを試食します。1回コースは入門用、3回で一人で打てるようになります。

- 【開催日】毎月第1、第3土曜日
- 【参加費】1回 3,500円、3回コース 9,000円
- 【申込締切】7日前
- 【定員】10名
- 【会場】「わたしの田舎」谷当工房（千葉市）
- 【連絡先】「わたしの田舎」谷当工房
- TEL & FAX：043-239-0645
- E-mail：yatoukoubou@gmail.com

陸っぱり海釣り体験

内房の海で釣り体験。堤防や小磯で手軽に釣りを楽しめます。道具はすべて用意するので手ぶらでOK！自分の手で釣った魚を料理して食べるとまた格別な味です。季節やそのときの魚の状況などを考慮して対象魚、釣り方など選択しご案内します。

- 【対象】どなたでも
- 【申込締切】予定日の5日前
- ※7名以上、及び子どもだけでの参加の方は2週間前までに連絡、ご相談ください。
- 【定員】1日1組（1グループ）2～6名
- 【参加費】ショートプラン（2時間半～3時間）1人 4,000円
レギュラープラン（3時間～5時間）1人 5,500円
- ※プログラム費用、釣道具一式含む。
- ※釣った魚を料理して食べることもできます。別途費用になります。詳細はお問い合わせください。
- ※子どもだけでの参加は別途お見積りとなります。
- 【会場】集合・解散場所：道の駅富楽里とみやま、内房線岩井駅
- 【連絡先】ELFIN 体験共育くらぶ
- TEL：0470-55-8322 E-mail：toi-awase@elfin-ee.com

★他にも楽しいイベントもりだくさん！

Webをチェック！ 検索

★FB、ツイッター、ブログで情報更新中！



●ろくすけ日和『平群のみかん』

千葉自然学校では、築180年の古民家を管理しています。南房総市平久里という地域にあり、周りは里山。まるで昔話のような場所です。この家には屋号という昔からの愛称があり、皆から親しみを込めて「ろくすけ」と呼ばれています。シニア自然大学やヤックス自然学校のキャンプリーダーの力を借りて少しずつ整備を進めながら、子ども・大人のキャンプで活躍中です。時々テレビにも出ています！

ぐっと気温が下がってきましたが皆さんお元気にお過ごしでしょうか？11月には都心でも雪が降りましたね。ろくすけでも私の車に雪が積もりましたが、平群から車で10分も走れば雪は無し…。ろくすけはやはり寒い場所です。

さて、そんな降雪もあった月でしたが、11月の平群といえば「みかん」が名産です。ろくすけから車で約15分程行ったところにある吉沢という地域で主に作られています。

「南房総でみかん」というイメージはあまりないと思いますが、山の斜面に段々畑があり、みかんの時期には一面オレンジ色の景色が広がっています。「伏姫みかん」という名前で売られており、甘みが強く、この時期はみかん狩りやみかんを買いに来るお客さんで平群も道の駅も大変賑わいます。

そんなみかんを楽しんでもらおうと平群ツーリズム協議会では11月にみかん狩りを含めたろくすけのツアーを行いました。地元の方は「今年は日照時間が短かったからあんまり甘くないよ」と仰っていますが充分甘い、そして酸味が程良いみかんです。参加者の皆さんも「おいしい！」と何個ももいで食べたり、お土産用に購入されました。またみかん農家のおばあちゃんと地域の暮らしの話で盛り上がりたりしている様子も見られました。

ただみかん狩りをするだけでなく風景を愉しんだり、地域の方との交流を図る。私たちのツアーではそういう過程を大事にし、お客さんに伝えられたらと考えています。(余談ですがみかん農家のおばあちゃんは肌がとてもきれい！みかん効果でしょうか…)

みかん狩りは12月中旬頃で終わってしまいますので、今年を逃してしまった方はぜひ来年！皆さんに平群のみかんを味わってほしいです。そしてお帰りの際にはろくすけにもお寄りください。庭でみかんを食べながら里山の風景をお楽しみください。

(文：かやぶき屋根の古民家ろくすけ住人 山崎大地／だいすけ)



●千葉シニア自然大学 「収穫祭」

6月初旬に植え付けたサツマイモ、落花生の「収穫祭」を毎年、秋に実施しています。場所は、佐倉市岩名運動公園に隣接した、当千葉自然学校で管理する体験農園（佐倉圃場）での収穫と、NPO法人佐倉みどりネットのフォレスト・イン岩名での焼き芋、ゆで落花生、バーベキューでの収穫祭です。

千葉シニア自然大学・基礎コースの野菜づくりの授業の一環で、NPO法人ちば農業支援ネットワーク副理事長の甲田暢男（こうだのぶお）講師の指導で、植付け時の畝作りやマルチの貼り付け、苗の植え方、土のかぶせ方など、実地に指導を受けたベニハルカ、ベニアズマ、パープルスイートロードの3種類のサツマイモと落花生の待ちに待った収穫です。

大半が60才代後半から70才代の生徒ですが、植付け時も、収穫時も皆生き生きと、和気あいあいと作業を楽しんでいます。今年はサツマイモが不作ではと心配もありましたが、大収穫で持ちきれないほどの持ち帰りになりました。もちろん一部は、焼き芋で味見です。

佐倉みどりネットの方々の手助けで、事前に準備された火種の中にアルミと新聞紙にくるんだサツマイモを入れて、3種類の焼き芋の味比べに、大賑わいとなりました。

バーベキュー慣れた腕自慢は、焼きそばづくりや焼き肉作りもお手の物。また、とりたてのゆで落花生も大いにテーブルを賑わしました。

一度は雨で延期した11月5日の収穫祭でしたが、沢山のお土産を持って解散となりました。

(文・写真：吉岡章次)



みんなのおおきな食卓

～遠藤さんの郷土料理のお話～

千葉の郷土料理「性学もち」は、うるち米を使い、のど越しがよく、いろいろな料理に合い、保存性がよい…といった多くの利点を持っています。

この“もち”を、現代の食生活にマッチした利用しやすい商品として売り出したいと、県の産業振興センターの助成を受け、アドバイザーの指導の下に取り組んできました。

試行を重ねるごとに、こんな利用もできる、こうしたら…と様々なアイデアが湧き、楽しく商品開発をしています。

春には「古民家ろくすけ工房」の第1号商品として売り出したい、「ろくすけ茶屋」も開店したい…と夢を膨らませています。

(文：遠藤陽子／サニー)



松田料理長のおすすめレシピ～南房総の郷土料理～

千葉県で、この時期に最も目に付く食材は何かと考えると、菜の花が一番思い浮かびます。今回は、その菜の花の料理を紹介したいと思います。

○菜の花の辛し和え

菜の花を色よく茹でて、水気を切って二等分にする。

①出汁6・味醂0.5・淡口醤油1の地と②同量の地に適量のからしを混ぜたものを用意して、先程の菜の花を①の地に少し浸してから軽く絞り②の地につけて出来上がり。

○菜の花と白魚の卵とじ

菜の花を色よく茹でて、水気を切って出汁10・味醂1・淡口醤油1の割合で鍋で煮立たせてから、菜の花と白魚を入れて溶き卵を流してとじたら出来上がり。

○菜の花のピザ

中力粉100g・砂糖2g・塩2g・ドライイースト3g・オリーブオイル10gをボールに入れて、混ぜ合わせてから20分間おいて発酵させる。

発酵させた生地をピザ状に伸ばして、お好みで刻んだベーコンと色よく茹でた菜の花をのせてから、塩を適量にかけて最後にチーズをのせてオーブンに入れて焼きあがったら出来上がり。

(文：松田光央)



●団体会員（37団体）

NPO 法人大山千枚田保存会、岩井民宿組合、ヤックス自然学校、鴨川陶芸館（株）ちば南房総、千倉オレンジセンター、NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団「わたしの田舎」谷当工房、NPO 法人佐倉みどりネット、森林塾かずさの森、（有）みねおかいきいき館、（一財）千葉県観光公社、上総自然学校、NPO 法人安房文化遺産フォーラム、（株）かずさアカデミアパーク、食と農の体験工房「よもぎ館」、千倉民宿組合、千葉県酪農のさと、ぬく森くらぶ、自然の宿「くすの木」、リゾートイン白浜、Live Stock（ライブストック）、さんむアクションミュージアム、市津・ちはら台自然楽校、NPO 法人里山会（勝浦エンゼルアドベンチャーランド）、千葉伝統郷土料理研究会、ひらつか地域活性化協議会、ピーちゃんクラブ、NPO 法人ちば里山センター、森の時計・自然工夫塾、ELFIN 体験共育くらぶ、NPO 法人千葉・草原のこころファーム、（一社）森のようちえんはっぴー、環南みんなの楽校、（一財）千葉県環境財団、（有）銚子海洋研究所、東京クラシッククラブ

●賛助会員（6団体）

館山日東バス株式会社、（財）ちば国際コンベンションビューロー、株式会社富楽里とみやま、株式会社HMC 東京 旅行事業部、スコープジャパン株式会社、林造園土木株式会社

指定管理施設

現在、県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として管理・運営しています。

- ・南房総市大房岬自然の家（千葉県の施設として平成17年9月～平成20年3月）
（南房総市の施設として平成20年4月～）
- ・千葉県立大房岬自然公園（平成18年4月～）
- ・千葉県立君津亀山少年自然の家（平成20年4月～）



千葉県立大房岬自然公園



南房総市大房岬自然の家



千葉県立君津亀山少年自然の家

運営施設

- ・かやぶき屋根の古民家「ろくすけ」（平成16年5月～）
- ・千葉県立中央博物館ミュージアムショップ（平成26年4月～）

千葉自然学校のミッション

体験活動を通じ

- ・だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
- ・地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
- ・ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす



千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成15年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。

また、ネットワーク会員との連携を強化し、県内全域で幅広い世代を対象とした自然体験活動を実施しています。

千葉事務所のスタッフが
毎回一言つぶやきます。
お見逃しなく！

■里山里海親子塾、課題はあるが成果もあった。昆虫や植物の生きる力や里山里海の自然の不思議を知り、親子の共通体験によって絆が強まる。自然学校の果たす役割の一つだと強く感じる塾であった。（オーシャン）

■年を考えると一歩前に進むことをためらう自分がある。でも、進まないとい何とも変わらない。（サニー）

■年末に新年のことをつぶやくと鬼が笑う！まずは足元を固めて、未来の夢を描いて行こう。（ボクサー）

■家業の後継者不足は良く問題になるけれど、人の思いをつなげて活動する人も後継者不足ないように感じる。（ぺったん）

■小学生対象の事業で、南房総のみかん農園の収穫手伝いをしました。計20kg×30ケース収穫。少しは役にたったかな？

（たこはち）

■明けましておめでとうございます。「まだ未ぬ千葉へ」今年もよろしくお願いします。

（アリ）

■11月に降った雪にびっくり。千葉ではすぐに溶けたけど、移動して群馬の山頂で一足早い雪遊びを堪能！（けろっぴ）

■農園へ作業に行こうとするとだいたい雨が降るんです。困ったものです。（かつを）

■心機一転。新しい年になると、新しい気持ちになれます。（のりべん）

■新しい年がスタート。健康で楽しい1年に。本年もよろしくお願いします。

（らうす）

《編集後記》

今年の初詣は学生の頃に6年間バイトでお世話になった神社に参ろうと思います。あの頃の失態の数々、どうか忘れてくれていますように…。（かみい）

認定NPO法人を目指して～ご寄付お願い～

寄付金額が3,000円以上である寄付者様を募集しています。当法人の活動にご理解、ご支援いただける方はぜひご支援ください。

▼振込先（郵便局）▼

【郵便振替口座番号】00170-5-259431

【加入者名】特定非営利活動法人 千葉自然学校

▼振込先（銀行）▼

千葉銀行 千葉駅前支店 普通 3740275

特定非営利活動法人 千葉自然学校

【寄付金額】3,000円より

※領収書を発行いたしますので、お名前、ご住所、ご連絡先を必ずご記入ください。

発行： **NPO法人 千葉自然学校**

千葉自然学校ニュースレター（年4回発行）

■千葉事務所 〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル 7階

電話：043-227-7103/FAX：043-202-7237

ホームページ：http://www.chiba-ns.net メールアドレス：info@chiba-ns.net

